

延岡市スポーツパーク整備実施設計

(案)

令和5年12月

延岡市

目次

1	はじめに	1
2	計画概要	4
3	実施設計概要	6
4	施設管理	9
5	概算工事費・維持管理費	10

1 はじめに

若者を中心に人気のアーバンスポーツ「スケートボード」、「3 on 3 バスケッ
トボール」、「BMX」等については、東京 2020 オリンピックの正式種目となっ
たこともあり、全国的に競技人口が増加しています。

現在、本市でもアーバンスポーツを楽しむ光景は増えてきましたが、その一方
で市内にはこれらを安全に行える場所が少ないこともあり、これまで市が開催
した「若者が描く魅力あるまちづくりミーティング」などで、施設整備を求める
要望などが出されているところです。

こうしたことから、本市では、令和 4 年度に設置した、有識者、関係団体、学
生、公募委員などで構成される「延岡市スポーツパーク整備検討委員会」で検討
を重ね、地域の方々にもご意見をいただいた上で、令和 4 年 12 月に「基本方針」
を公表し、パブリックコメントにより市民の皆様のご意見をいただき、その後も
検討を重ねた上で、このたび「実施設計（案）」を策定しました。

今後は、この「実施設計（案）」のパブリックコメントで市民の皆様からいた
だくご意見も踏まえながら、令和 6 年度予算に工事費を計上し、令和 6 年度中の
完成及び令和 7 年度からの供用開始を目指して整備を進めたいと考えておりま
す。



整備予定地（ヘルストピア延岡南側広場）

■これまでの経緯及び今後の事業スケジュール

令和4年 8月	「延岡市スポーツパーク整備検討委員会」設置 令和4年度第1回延岡市スポーツパーク整備検討委員会
令和4年 9月	延岡市スポーツパーク整備検討委員会 県内施設視察
令和4年 10月	令和4年度第2回延岡市スポーツパーク整備検討委員会
令和4年 12月	令和4年度第3回延岡市スポーツパーク整備検討委員会 「延岡市スポーツパーク整備基本方針（案）」 策定
令和5年 1月	基本方針（案）のパブリックコメント 実施 土々呂公園南側駐車場のスケートボード場としての暫定的利用開始
令和5年 8月	令和5年度第1回延岡市スポーツパーク整備検討委員会
令和5年 9月	令和5年度第2回延岡市スポーツパーク整備検討委員会
令和5年 11月	令和5年度第3回延岡市スポーツパーク整備検討委員会 「延岡市スポーツパーク整備実施設計（案）」 策定
令和5年 12月	実施設計（案）のパブリックコメント 実施
令和6年度	整備工事
令和7年度	供用開始



■ 令和5年度「延岡市スポーツパーク整備検討委員会」委員名簿

(敬称略)

	所属	役職	氏名
1	延岡市区長連絡協議会	会長	森口 正輝
2	一般社団法人 延岡市スポーツ協会	専務理事	河野 裕一
3	学校法人順正学園 九州保健福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉学科	教授	三宮 基裕
4	延岡市 PTA 連絡協議会	副会長	阿波野 美樹
5	宮崎県立延岡商業高等学校	学生	甲斐 葵衣
6	学校法人 聖心ウルスラ学園高等学校	学生	甲斐 雛乃
7	延岡商工会議所 青年部	直前会長	鈴木 栄次
8	一般社団法人 延岡青年会議所 (青少年育成・アスリート委員会)	委員長	吉田 勇也
9	延岡市スケートボード連盟	理事長	森 年樹
10	延岡スケートボード協会	代表	下田 真也
11	特定非営利活動法人 ひむか感動体験ワールド	理事	三井 寿展
12	ひむか共和国実行委員会	委員長	馬場 和久
13	公募委員		谷平 優規
14	公募委員		佐藤 文昭
15	公募委員		井上 匠

2 計画概要

■ 整備コンセプト

大人から子どもまで皆が楽しめる施設

誰もがいつでも気軽に利用でき、自由に楽しめる施設を目指します。また、さまざまな年代に親しまれ、交流の場となる施設とします。

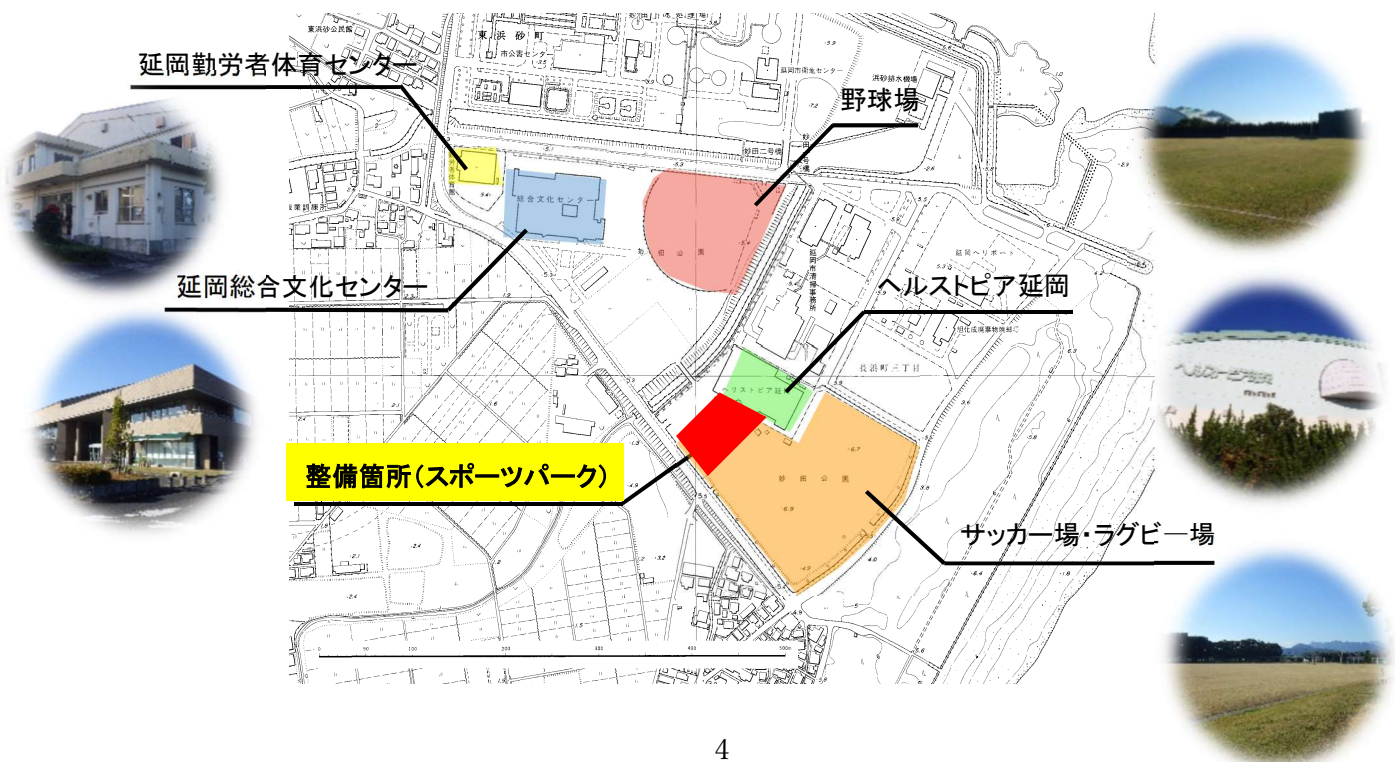
地域の魅力となる施設

周辺公共施設と一体となった新たな賑わいの創出・活性化につなげる施設としての機能を確保し、交流人口の増加に繋がります。また、土日を中心に多くの集客が見込まれることから、周辺の住宅等に対して、環境に配慮した施設設計を行います。

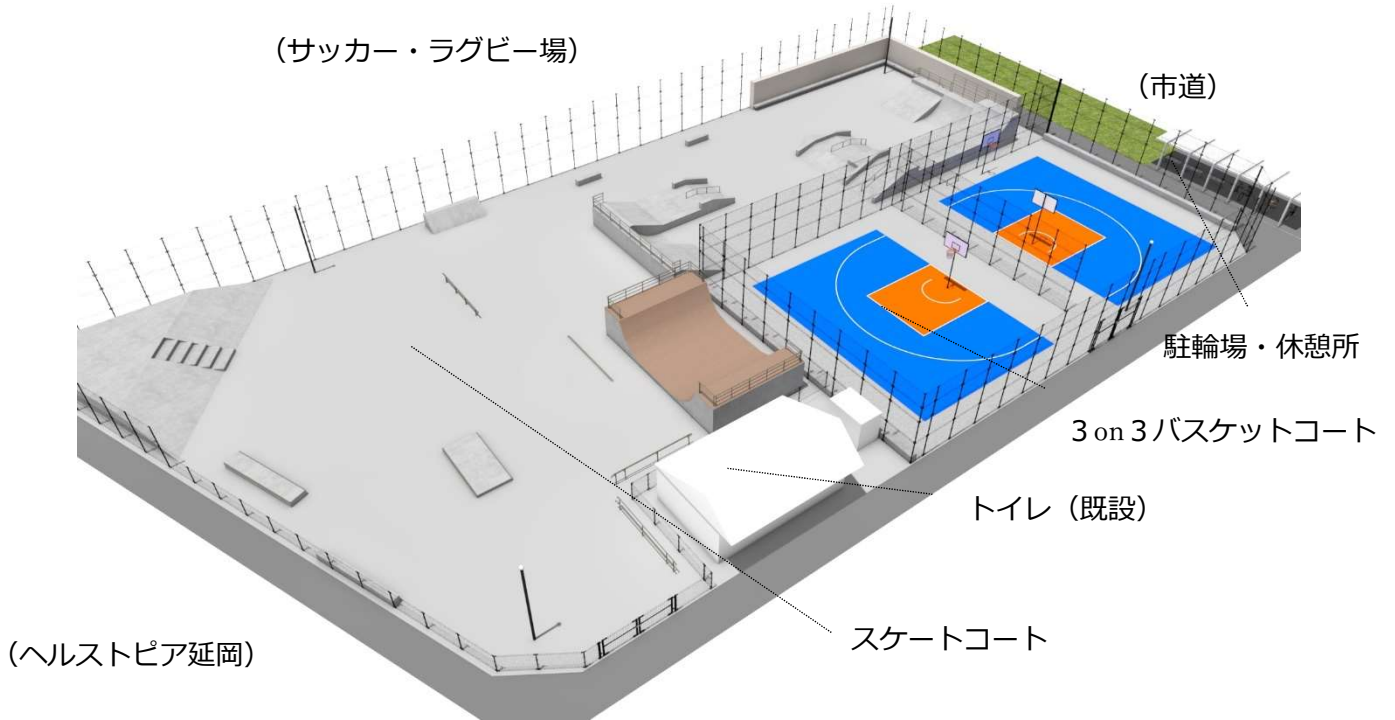
協働による施設整備

計画策定段階から若者等の意見を取り入れることで、行政と若者との協働による施設整備を行います。検討委員会の委員には、高校生や若い世代が参加し、若者にとって魅力ある空間を創ります。

■ 位置図



■ <全体図（完成予想図）>

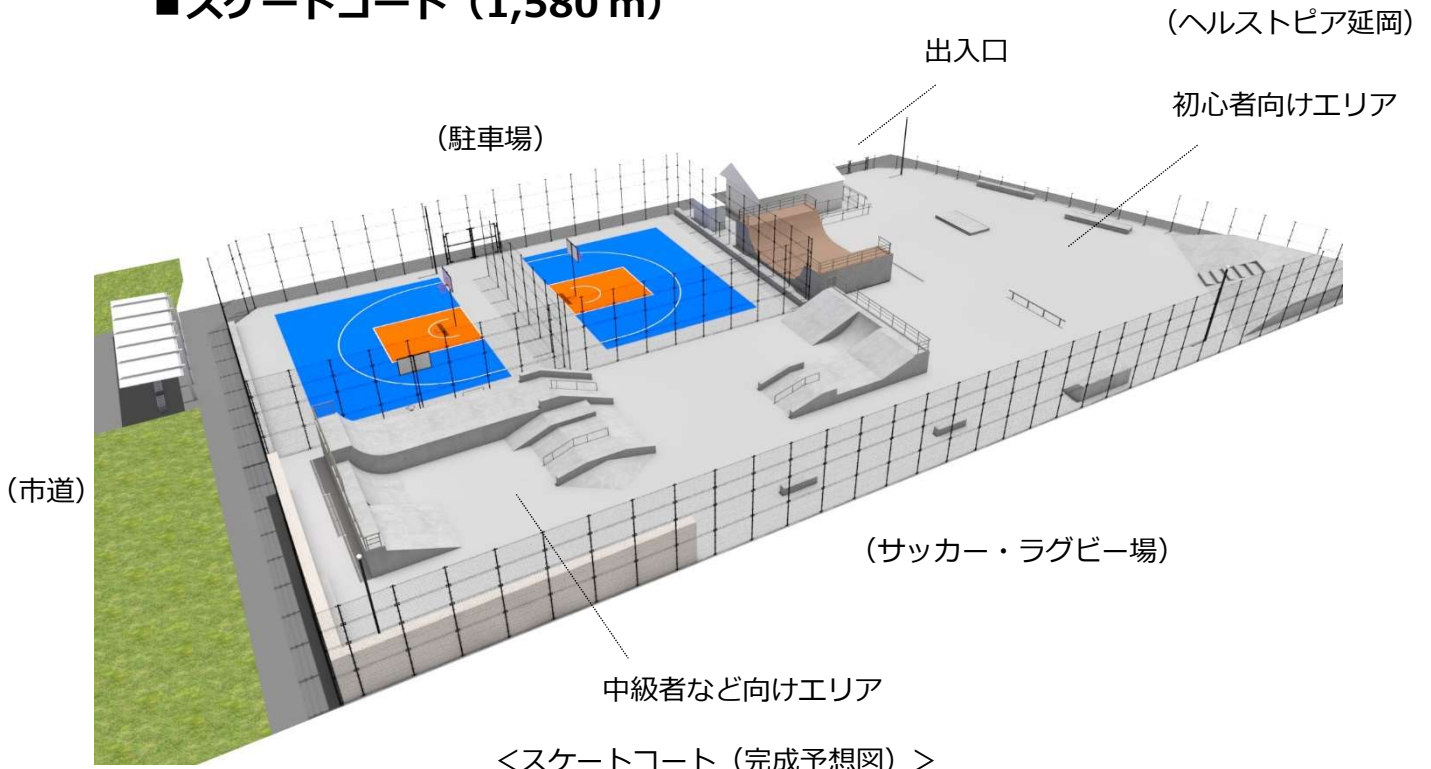


■ 施設概要

所在地	延岡市長浜町3丁目1954番地2
敷地面積	2,600㎡（トイレ部分含む）
都市計画	都市公園（妙田公園）
スケートコート規格・仕様	1,580㎡ コンクリート舗装
3on3バスケットコート規格・仕様	620㎡（2面） 樹脂系カラー舗装（樹脂系すべり止め）
付属施設・設備	照明設備・フェンス・防音壁 駐輪場・休憩所・監視カメラ
概算工事費	約220,000千円
概算年間維持管理費	約560千円

3 実施設計概要

■スケートコート (1,580 m²)



<スケートコート (完成予想図) >

スケートボードやインラインスケート、BMXを楽しむことのできる施設です。

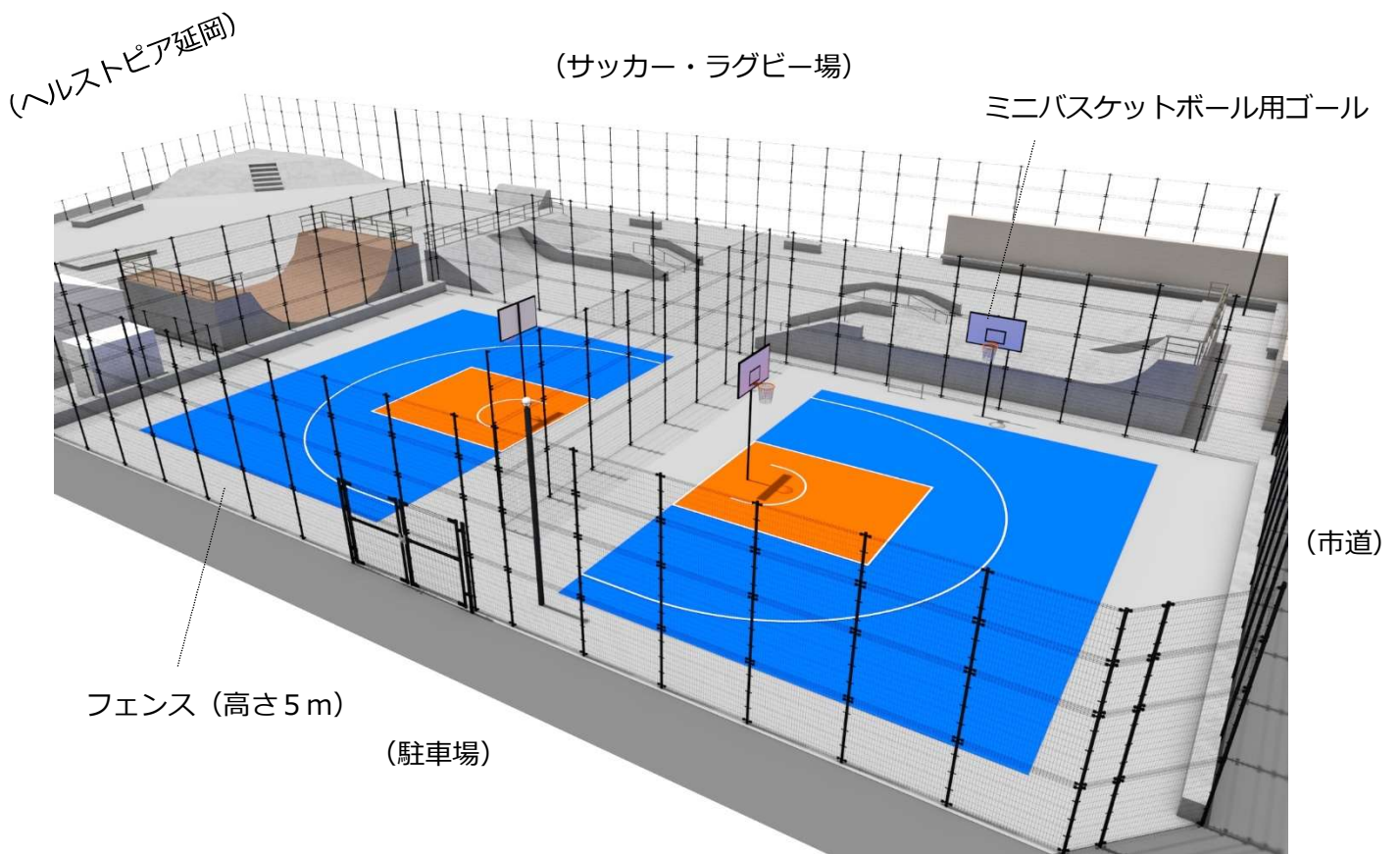
地面をコンクリート舗装したうえで、セクションと呼ばれる構造物を配置します。セクションの配置は、初心者から中級者などまで幅広く楽しめるように工夫します。

コート内入口付近には、比較的初心者が利用しやすいようなフラットスペースやセクション、手すり等を配置し、奥側には中級者などが好むセクションを配置します。

セクション一覧

- ①複合セクション、②マニュアルパッド、③バンク、④バンクウォール、
- ⑤スラッピー、⑥フラットレール、⑦ミニランプ、⑧カーブボックス、
- ⑨ベンチ型セクション

■ 3on3バスケットコート (620 m²)



< 3on3バスケットコート (完成予想図) >

3on3バスケットボールを楽しむことのできる施設です。

2面のコートを用意、ゴールは、利用中の飛球対策として背中合わせに配置します。

加えて、コートの1面には、ミニバスケットボール用として、向きと高さを変えたゴールも配置し、小学生以下の子どもも利用しやすい設計とします。

コートの周囲には、外部への飛球対策として、5mの高さの防球フェンスを設置します。

■ 付属施設・設備

① 照明設備

- 施設内には、照明設備（4基）を整備します。
- 照明については、施設の利用時間内のみ点灯し、利用時間終了後はタイマーで消灯します。

② フェンス

- スケートコート、3on3バスケットコートについては、周囲を全てフェンスで囲みます。
- フェンス高については、1.2m～5.0mとし、視認性や安全面等について様々な角度から検討したうえで、箇所に応じて高さを設定しています。
- 門扉（出入口）は、各コートに1箇所ずつ設けて、利用時間内のみ鍵を開け、利用時間外は施錠します。

③ 防音壁

- 周辺住宅地への防音対策として、施設南東側に防音壁を設置します。

④ 駐輪場

- 施設南側（市道側）に新たに利用者用の駐輪場を設置します。

⑤ 休憩所

- 敷地内に現存する休憩所（四阿）を撤去し、駐輪場に併設した新たな休憩所を設置します。

⑥ 監視カメラ

- 利用者の安全対策、また利用時間外の侵入防止を目的として、施設内に監視カメラ（6基）を設置します。

4 施設管理

■ 利用料金 無料

整備コンセプトの一つを「大人から子どもまで皆が楽しめる施設」としていることから、誰もがいつでも気軽に楽しめる公園として位置付けます。

また、今回の整備目的には、本市にアーバンスポーツを楽しめる場所が少ないことや、路上や危険な場所で行っている状況がみられるという社会問題の解消もあることから、そういった受け皿としての施設の役割もあります。

このような考え方や検討委員会のご意見を参考にしたうえで、利用料金は無料とします。

■ 管理方法

管理者は施設に常駐せずに、鍵の開閉や定期的な巡回のみを行うこととして、周辺公共施設管理者に管理の協力を依頼する方向で、今後協議を進めます。

施設の定期的な清掃や備品等の破損状況の確認は、市内の愛好団体などのご理解を得て協力を求めていると考えています。

いずれも経済的かつ効率的な管理方法となるよう努めます。

■ 利用時間 8：30～21：00（予定）

照明設備により夜間の利用も可能とします。

なお、利用時間や休園日の設定は、管理方法と併せて今後検討していきます。

■ その他

施設の名称や詳細な管理運営方針（利用規約等）については、今後、別に定めることとします。

5 概算工事費・維持管理費

■ 概算工事費 約220,000千円

※この金額はあくまでも試算によるものであり、実際の金額とは異なる可能性があります。なお、この金額とは別に、施設内に設置する管理用備品の購入や、今後施設整備を進める中で生じる課題の解決に必要な経費等が必要となる場合があります。

＜事業財源（予定）＞	地方債	198,000千円
	その他・一般財源	22,000千円

※地方債は、「地域活性化事業債」の活用を想定しており、その元利償還金の30%は国から財政支援があります。

※その他の財源についても、「スポーツ振興くじ助成金」を活用して、できる限り多くの支援を得るよう努力してまいります。

（参考）基本方針策定時の概算工事費 約120,000千円

基本方針の策定時と比較して、実施設計における概算工事費が増加した主な要因は、以下のとおりです。

① 物価上昇

昨今の原材料・原油価格高騰等の影響により、例えば、生コンクリートの価格が、令和4年度（基本方針策定時）と比較して、14%程度上昇しているなど、建設資材等の価格が上昇していることが工事費増の要因の一つとなっています。

② セクションの充実

当初、セクションについては、本市と同規模の他自治体の事例などを参考として、同程度の内容とすることを想定していましたが、検討委員会におけるご意見を踏まえ、市内外からより多くの方が訪れ、賑わいの創出・活性化にもつなげられるよう、魅力のあるセクションの充実を図ることとしました。

③ 整備面積の拡大

検討委員会におけるご意見を踏まえ、スケートコートエリアの面積について、基本方針の1,300㎡を1,580㎡に拡大しました。

④ 防球フェンスの高さ延長

3on3バスケットコートの周囲のフェンスについて、エリア外への飛球対策として、当初は一般的なフェンス高である3m～4mを想定していましたが、安全性をより考慮した5mの高さのものとなりました。

また、サッカー場・ラグビー場からの飛球対策として、現在境界にある3mのフェンスについても更新して5mの高さにすることとしました。

⑤ 監視カメラの設置

当初、監視カメラの設置は想定していませんでしたが、前回のパブリックコメントにおけるご意見等を参考に、安全対策や利用時間外の侵入防止等を目的として、施設内に監視カメラを設置することとしました。

■維持管理費（年間） 約 560 千円（予定）

年間維持管理費内訳

項目	維持管理費 (千円)	備考
修繕料	100	
光熱費	60	照明設備・監視カメラ
施設管理料（人件費）	400	
合計	560	

修繕料及び光熱費については、他自治体の類似施設の管理実績等を参考として、現時点の電気料金水準等を想定して試算した金額です。

また、修繕料については、概ね 10 年経過後から年間約 500 千円を想定しています。隣接する既存のトイレの維持管理費については含んでいません。

施設管理料（人件費）については、現在検討している管理方法に基づいて算出したものであり目安の金額としています。

このように、これらの金額はあくまでも試算によるものであり、実際の金額は異なることが考えられますが、今後も引き続き、省エネルギー対策やメンテナンス費用の抑制に努め、コスト削減に配慮した施設整備等を行います。